



【野菜づくり情報】

KASSAI

農業

キュウリ栽培情報

No. 2

1. カビに注意！！

JA福井県【福井基幹支店】

特にハウスのキュウリに「灰色かび病」が発生しています。また6月5日頃から低温になると気象庁から発表されています。適切な対策を行い、蔓延防止に努めましょう。

2. 被害の様子と発生原因

葉・花卉・果実に発病しますが、果実への被害が最も大きい。
発生適温は20℃位で、やや低温で多湿条件になると多発しやすい。



3. 対策！

栽培管理による耕種的防除と薬剤散布を実施しましょう。

- ① 多湿が発生要因となるので、できるだけ湿度を下げた栽培に努める。
- ② 葉かきを行い、通気を良くする。
- ③ 枯れた花卉は伝染源となるので、できるだけ除去する。
- ④ 見つけ次第、圃場から持ち出す（圃場内に放置しない）菌は土壌中に残り伝染源となる。

4. 薬剤による防除方法

- ① 灰色かび病、べと病、つる枯れ病など常発しやすい病害との同時防除を定期（予防）的に行う。
- ② 発生を確認したら、早期に防除を徹底する。
- ③ 防除薬剤は耐性菌の発生を抑制するため、FRACコードが同じ薬剤の連続散布は行わない。

【防除薬剤】

FRACコード	農薬の名称	適用害虫名	使用倍率	使用回数	使用時期	効果
F:1	トップジンM水和剤	灰色かび病、うどんこ病、菌核病、黒星病、炭疽病、つる枯病	1,500～2,000倍	5回以内	収穫前日まで	予防治療
F:2	ロブラール水和剤	灰色かび病、つる枯病、菌核病	1,000倍	4回以内	収穫前日まで	予防
F:7	アフェットフロアブル	灰色かび病、うどんこ病、菌核病	2,000倍	3回以内	収穫前日まで	予防
F:7	カンタスドライフロアブル	灰色かび病、菌核病	1,000～1,500倍	3回以内	収穫前日まで	予防治療
		褐斑病	1,500倍			
F:M7	ベルコート水和剤	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病	2,000～4,000倍	7回以内	収穫前日まで	予防
		褐斑病	2,000倍			
F:M5	ダコニール1000	灰色かび病、うどんこ病、べと病、褐斑病、黒星病、炭疽病	1,000倍	8回以内	収穫前日まで	予防